

# 盛岡局を含む全国6エリアで「XRAIN」の配信を開始します。これにより、配信エリアが東北地方全域をカバーします！

～ 「川の防災情報」<sup>\*1</sup> (<http://www.river.go.jp/>) で配信開始 ～

国土交通省では、8月11日より、**XRAIN**<sup>\*2</sup>（高精度・高分解能のリアルタイムの雨量情報）を**盛岡局を含む全国6エリアで配信**します。

これまで青森県（下北半島、津軽半島の一部）が未配信となっていましたが、今回、新たに北海道道南を中心とした地域を配信することで、青森県を含む配信エリアが拡大し、**東北地方全域をカバー**します。

今回、新たに配信となる沖縄県、北海道道南を中心とした地域等では、これまでに比べ空間解像度が1kmメッシュから250mメッシュ、配信間隔が5分から1分になります。また、盛岡局等の現在の配信エリアにレーダ雨量計が追加されるエリアについては、より観測精度の向上が図られます。

XRAINの拡大により、近年、増加する集中豪雨や局所的な大雨による水害や土砂災害等に対して、適切な避難行動や施設管理等の防災活動等に役に立ちます。

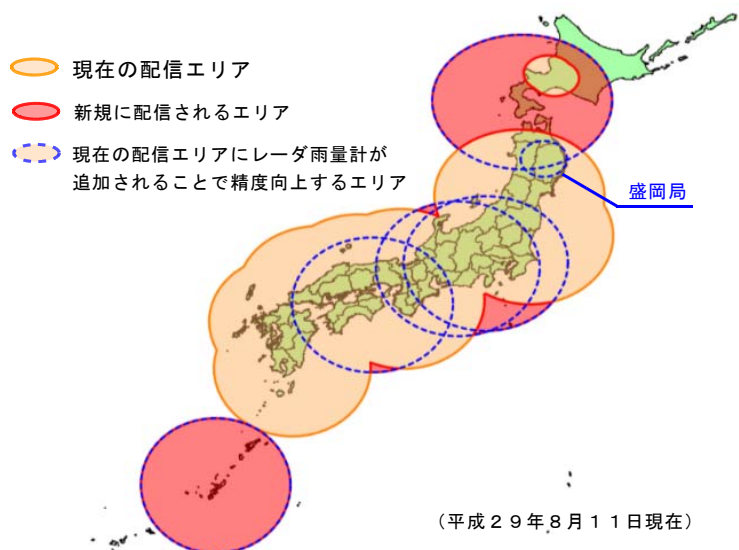
## ◆ 配信開始予定： 8月11日（金）午前0時

〔 降雨等により、配信日が前後する場合や作業を延期する場合があります。  
延期する場合は、川の防災情報でお知らせ致します。 〕

## ◆ 今回、新たに高性能化した6基（盛岡局を含む）のレーダ雨量計を追加し、配信を開始します。拡大する配信エリアは下図のとおりです。



盛岡局レーダ雨量計（岩手県）



（平成29年8月11日現在）

## 【アクセスURL】

- ・国土交通省川の防災情報 <http://www.river.go.jp/> よりご覧になれます。
  - ・東北地方整備局HP <http://www.thr.mlit.go.jp/> にバナーを設置します。
- このバナーをクリック→



「XRAIN（エックスレイン）」の詳細は別紙をご覧ください。

- ※1 全国の河川の水位、雨量等の情報をインターネットでリアルタイムに提供するサイト。
- ※2 eXtended RAdar Information Network（高性能レーダ雨量計ネットワーク）の略。
- ※3 一部島しょ部等を除く。また、配信エリアであっても、山岳遮蔽等により観測できないことがあります。

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ＞

＜問合せ先＞国土交通省 東北地方整備局

仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟 (TEL:022-225-2171) (代表)

河川部 水災害予報センター長 にへい 二瓶 昭弘 (内線3851)

水災害対策専門官 かわぐち 川口 滋 (内線3852)



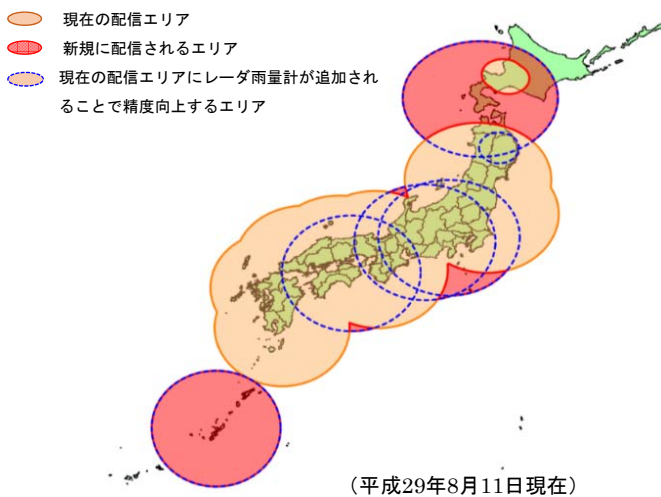
# XRAIN

eXtended RAdar Information Network

高分解能(250mメッシュ)・高頻度(配信間隔1分)で、ほぼリアルタイムな雨量情報(XRAIN:エックスレイン)の配信エリアを全国※に順次拡大しています。

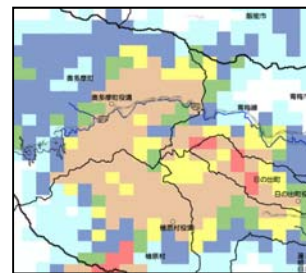
近年、増加する集中豪雨や局所的な大雨による水害や土砂災害等に対して、施設管理や防災活動等に役立てるために、既存のCバンドレーダ雨量計を高性能化し、XバンドMPレーダ雨量計と組み合わせることにより、XRAIN(エックスレイン)の配信エリアを全国※に順次拡大しています。

※一部島しょ部等除く

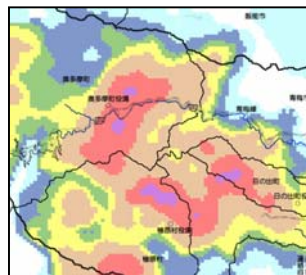


**配信エリアは全国に順次拡大します**

※上図のエリア内であっても、山岳遮蔽等により観測できないことがあります。



【Cバンドレーダ】  
空間解像度:1km  
配信間隔:5分



【XRAIN】  
空間解像度:250m  
配信間隔:1分

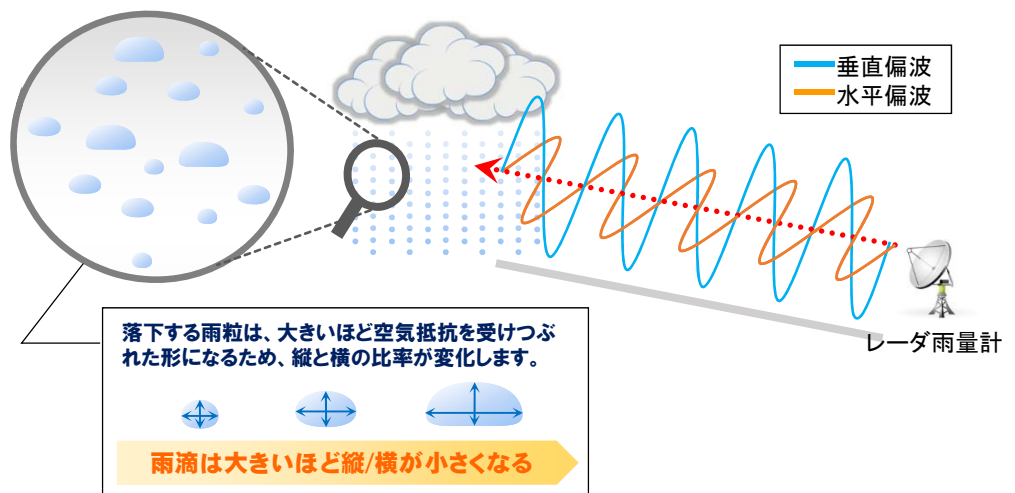
**高分解能・高頻度で、ほぼリアルタイムな雨量情報を提供します**

「国土交通省川の防災情報(<http://www.river.go.jp/x/>)」より  
ご覧になれます。



# 配信エリア拡大のためレーダ雨量計の高性能化を進めています

高精度・高分解で、ほぼリアルタイムな雨量情報の配信エリアを拡大するため、更新時期にあわせて既存のCバンドレーダ雨量計の高性能化を進めています。

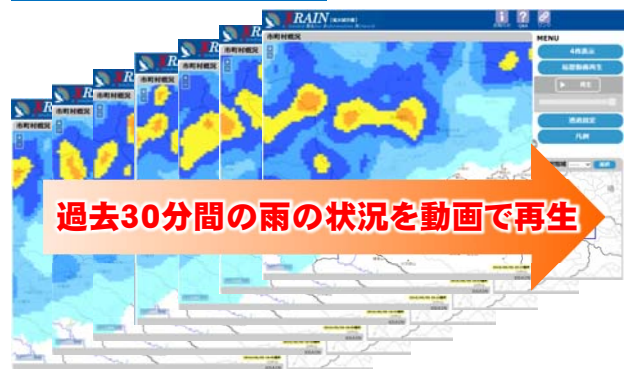


## XRAIN 主な機能

### 透過設定

雨が降っているエリアと地図を確認できます。

### 履歴動画再生



## 国土交通省レーダ雨量計 性能比較

雨量情報サイト	レーダ雨量計	配信間隔	空間解像度	配信遅れ	地上雨量計による補正の必要性	カバー範囲
今回	CバンドMPLレーダ雨量計 XバンドMPLレーダ雨量計	1分	250m メッシュ	1~2分	なし	全国(順次拡大)
	Cバンドレーダ	Cバンドレーダ雨量計	5分	1km メッシュ	約10分	あり

※国土交通省レーダ雨量計の雨量情報は、川の防災情報(<http://www.river.go.jp/x/>)からご覧になれます。

## ご利用にあたって

- 利用者の皆様がこのサイトの情報を用いて行う一切の行為について国土交通省は何らの責任を負うものではありません。
- レーダ雨量計は上空の雨粒を観測していること等から、地上での雨量の分布と異なることがあります。また、観測性能の向上のため、地上に近い高さで観測を行っており、グランドクラッタと呼ばれる地上の構造物や樹木等の反射が映り込むことがあります。観測範囲外や豪雨によるレーダ電波の消散等により、降雨状況の観測ができなくなることがあり、そのエリアはグレーで表示されます。なお、観測範囲全域において一律な観測精度とはなっていません。
- 機器の試験や精度検証等を目的として、予告なく運用方法の変更、データの配信を中断、停止等の措置をとることがあります。また、機器の保守・点検や予期せぬ障害等により観測ができなくなることがあります。

# XRAINの効果

増加する集中豪雨や局地的な大雨による水害への対応が可能です。

平成20年7月28日に兵庫県神戸市の都賀川で発生した局地豪雨による河川の急激な増水により、河川にいた5名が流され死亡

→10分間で1.3mの水位上昇

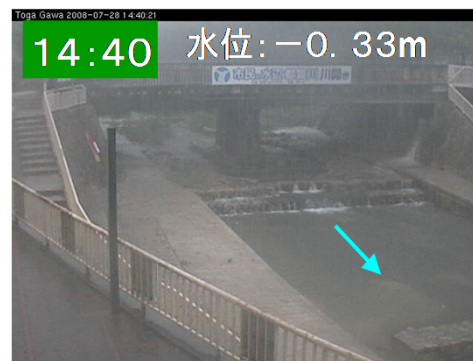
(2分以内に約1m程度の水位上昇:土木学会調査団報告)



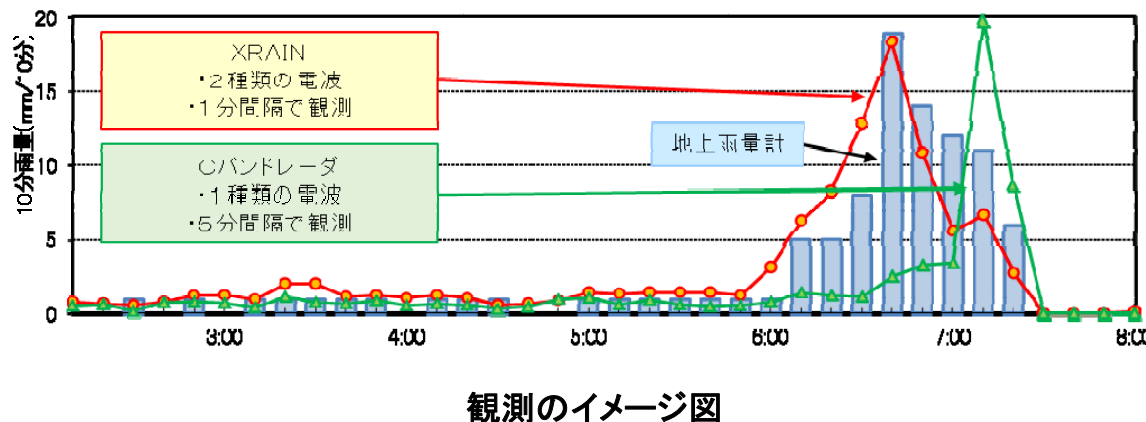
1kmメッシュで、5分毎の降雨の観測データを5~10分後に配信するCバンドレーダでは対応困難。

レーダ雨量計のMP化により、XRAINでは、250mメッシュで、1分毎の降雨の観測データを1~2分後に配信可能となり、局地豪雨による急激な雨量変化も精度良く観測でき、適切な避難行動等の防災活動等に役立ちます。

都賀川甲橋 水位上昇状況 (神戸市モニタリングカメラ画像)



第1回中小河川における水難事故防止検討WG 都賀川説明資料(兵庫県)より

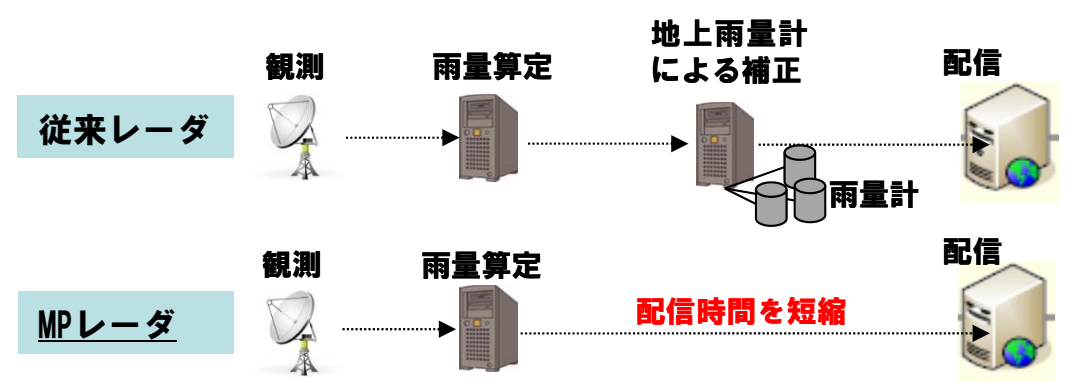
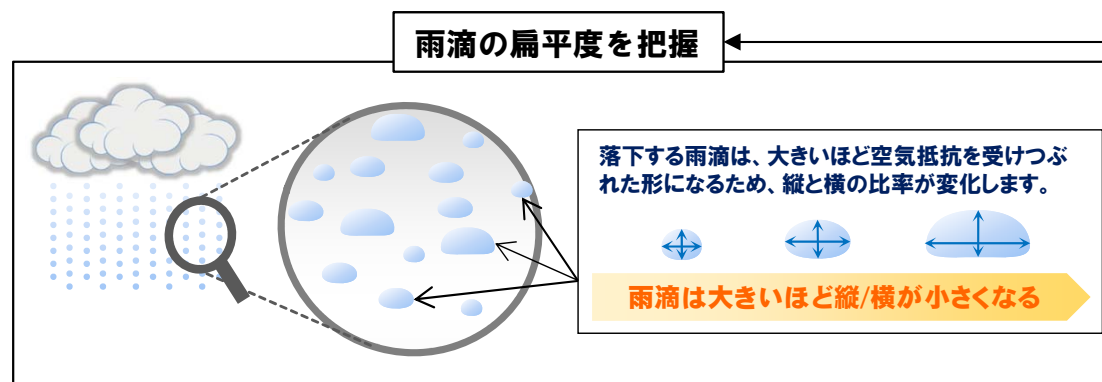
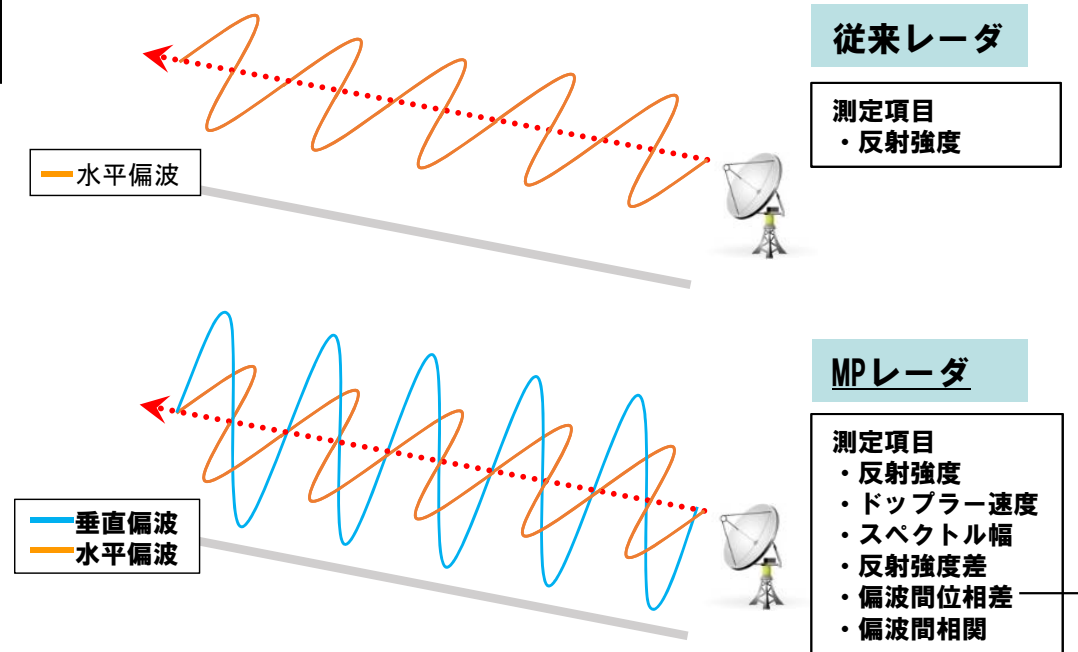


# XRAINの特徴

これまでのXRAINは、XバンドMP(マルチパラメータ)レーダ雨量計のみで構成されてきました。今回、従来より保有するCバンドレーダ雨量計をMP化し、XバンドMPレーダ雨量計と組み合わせることで、XRAINの配信エリアを大幅に拡大しています。

## 1. MPLレーダとは

- MPLレーダでは、2種類の電波(水平・垂直偏波)を送受信します。従来のレーダより多くの項目を測定することで、雨滴の形状等を把握することが可能となります。MPLレーダでは、雨滴の扁平度等から雨量を推定することで、高精度な観測が実現しています。
- 高精度な観測が可能のため、地上雨量計による補正を行わずに、ほぼリアルタイムで雨量情報を配信することを実現しています。



## 2. XバンドMPLレーダ雨量計とCバンドMPLレーダ雨量計を組み合わせることで可能になったこと

- XバンドMPLレーダ雨量計では、約3cmの波長の電波を使用し、CバンドMPLレーダ雨量計では、約5cmの波長の電波を使用しています。
- 使用する波長帯の特性から以下のような特徴があります。

	XバンドMPLレーダ雨量計	CバンドMPLレーダ雨量計
アンテナ径	波長が短いため小型のアンテナ(直径約2m)で観測	波長が長いため大型のアンテナ(直径約4m)で観測
観測範囲	電波が減衰しやすいため観測範囲が狭い(半径80km)	電波が減衰しにくいため観測範囲が広い(半径300km※)
雨滴の扁平度の測定	電波の感度が高いため、弱雨～強雨に対して雨滴の扁平度を測定可能	強雨に対して雨滴の扁平度を測定可能
欠測領域の発生	電波が減衰しやすいため、強雨時に欠測領域が生じやすい	電波が減衰しにくいため、強雨時に欠測領域が生じにくい

※一部レーダ雨量計除く



CバンドMPLレーダ雨量をXバンドMPLレーダ雨量と組み合わせることで、**XRAINの観測エリアの広域化、欠測が生じにくい安定した観測が可能**となります。



XバンドMPLレーダ雨量計  
(アンテナ直径:約2m)



XバンドMPLレーダ雨量計 外観



CバンドMPLレーダ雨量計  
(アンテナ直径:約4m)



CバンドMPLレーダ雨量計 外観